

環境報告書 2026

Environmental Report



ごあいさつ



株式会社 サンエス
代表取締役社長

佐藤 卓己

まずは、令和8年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

近年、世界各地で異常気象が頻発し、日本国内においても記録的な猛暑や豪雨災害が発生するなど、気候変動の影響が私たちの生活や事業活動に大きな影響を及ぼしています。また、エネルギー価格や原材料価格の高騰に伴う物価上昇は、企業経営や社会全体に大きな課題を投げかけています。そのような中、エネルギーの有効活用と環境負荷の低減を両立する取り組みの重要性はますます高まっています。

当社では、環境問題への対応を企業の重要な責務と位置付け、業務の効率化や節電活動などを通じて、エネルギー使用量の削減に継続して取り組んでおります。また、廃棄物の削減や資源の有効活用を進め、環境負荷の低減と事業活動の効率化の両立を目指しています。

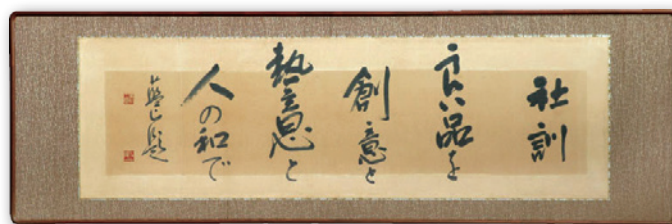
当社は2001年にISO14001の認証を取得して以来、環境関連法規制の順守はもとより、社会からの期待や要請に応えるため、グループ一体となって環境マネジメント活動を推進してまいりました。環境保全への取り組みに加え、省エネや節電を通じたエネルギーコストの低減にも努めています。

今後も、限りあるエネルギーや資源を大切に活用しながら、全社員が環境意識を持って改善活動を積み重ね、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

本報告書を通じて、当社の環境に対する考え方や具体的な取り組みについてご理解いただければ幸いです。今後とも皆様のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

■ 社訓 良い品を 創意と 熱意と 人の和で

『社訓』は、サンエスで働く社員の行動指針です。
 (良い品) お客様の満足を得る製品・サービスを
 (創意) 独創的な考えを持ち
 (熱意) 仕事に対する情熱を持ち
 (人の和) 社員の総力を結集して創り続けること



■ 経営理念

- 常に社会のニーズを先取りし、独自の価値をもった魅力ある企業として地域社会の発展に貢献する。
- 社員一人ひとりの能力開発に努め、会社の発展と社員および家族の幸せを図る。
- 地球市民として、関わりのある全ての人々との相互繁栄を期す。

目 次

ごあいさつ／社訓・経営理念／目次／編集方針	1
会社概要／当社の沿革／SDGsへの貢献／製品紹介	2
国内事業所・グループ会社所在地	3
環境コンプライアンスへの取り組み	4
環境管理	5～6
環境負荷バランス	7
環境負荷の低減	8
環境マネジメントの実践	9
リスク管理	10～11
事業活動における環境への取り組み	11～12
社会的取り組み	13
製品開発における環境配慮	14

〈編集方針〉

- 発行目的
弊社の環境への取り組みについて情報公開し、より多くの方々にご理解をいただくことを目的として、2005年度より発行しています。
- 対象範囲
ISO14001を認証取得している株式会社サンエスの7サイトにおける環境に関する活動
- 対象期間
2025年4月1日 ～ 2026年3月31日
(期間以降の内容も一部記載)
- 発行部署
株式会社サンエス 管理本部 総務部
- 連絡先
〒720-2124
広島県福山市神辺町大字川南741番地の1
TEL: 084-963-1146
FAX: 084-963-5570

会社概要

創 業 1932年(昭和7年)
資 本 金 9,700万円
従業員数 500人
売 上 高 240億/連結 150億/単独(令和7年度実績)
代 表 者 代表取締役社長 佐藤 卓己

取 引 先 シャープ、丸紅、東レ、他 全国弊社製品取扱代理店
事業内容 ユニフォームウェアの企画・製造・販売
 電子機器・設備機器・制御機器の設計・開発・製造・販売
 電子モジュールの開発・製造・販売
 ミネラルウォーターの製造・販売

当社の沿革

1932年(昭和 7年)	佐藤群治郎商店創業
1949年(昭和 24年)	佐藤織産(株)設立
1956年(昭和 31年)	サン開発(株)設立
1970年(昭和 45年)	サン電子(株)設立
1972年(昭和 47年)	サン開発(株)設立
1973年(昭和 48年)	半導体組立製造開始
1976年(昭和 51年)	サン電機工業(株)設立
1981年(昭和 56年)	サン油機工業(株)設立
1983年(昭和 58年)	佐藤織産(株)を(株)サンエスへ社名変更
1983年(昭和 58年)	サン電子(株)・サン電機工業(株)・サン油機工業(株)を(株)サンエスへ合併
1988年(昭和 63年)	第一流通センター建設(福山市神辺町)
1993年(平成 5年)	第二流通センター建設(福山市神辺町)
1995年(平成 7年)	サンミネラル事業部開設 奥大山のおいしい水販売開始
1995年(平成 7年)	WOI設立(香港)
1996年(平成 8年)	WSG設立(ベトナム)
1997年(平成 9年)	テクノセンターデバイス棟建設(福山市神辺町)
1999年(平成 11年)	西麻布ビル建設(港区西麻布)
2000年(平成 12年)	KSET設立(中国昆山)
2000年(平成 12年)	ISO推進室開設

2001年(平成 13年)	SAS設立(中国上海)
2001年(平成 13年)	ISO14001認証取得
2002年(平成 14年)	KSET第二工場建設(中国昆山)
2004年(平成 16年)	カジュアルウェアSPA事業展開
2006年(平成 18年)	WSE設立(ベトナム)
2007年(平成 19年)	テクノセンター技術棟建設(福山市神辺町)
2007年(平成 19年)	WSE A棟建設(ベトナム)
2008年(平成 20年)	KWM設立(中国昆山)
2008年(平成 20年)	WSE B棟建設(ベトナム)
2008年(平成 20年)	カーボンオフセット付ユニフォーム発売開始
2009年(平成 21年)	日本橋ビル建設(中央区日本橋小伝馬町)
2009年(平成 21年)	太陽光発電/パネルモジュールの組立開始
2010年(平成 22年)	SWAT設立(中国上海)
2011年(平成 23年)	SUN-S USA設立(アメリカ)
2011年(平成 23年)	KSET第三工場建設(中国昆山)
2012年(平成 24年)	奥大山水工場建設(鳥取県江府町)
2014年(平成 26年)	(株)センチュリーアークス設立
2017年(平成 29年)	繊維本部ビル建設(福山市神辺町)
2020年(令和 2年)	サン開発(株)を(株)サンエスホールディングスへ社名変更
2021年(令和 3年)	神辺第三流通センター建設(福山市神辺町)
2023年(令和 5年)	LD-WSE(ベトナム)設立

SDGsへの貢献

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、2015年9月に国連で採択された世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されています。株式会社サンエスは環境方針に沿って活動する事でSDGsの達成に貢献できるものと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



製品紹介



半導体組立検査装置	カメラモジュール	制御基板	メカトロ機器 (複写機周辺機器)	太陽光発電システム	
FZN・空調風神服®	雷神服®	プラズマクラスター 技術搭載ファン	ワーキングユニフォーム	クリーンユニフォーム	8Lラベルレスボトル
ミネラルウォーター	保存水	酸素補給水 WOX	衛生除菌水 サンクリア	LED防塵灯 サンベックスライト®	可視光通信機

国内事業所・グループ会社所在地

● 本環境報告書対象サイト

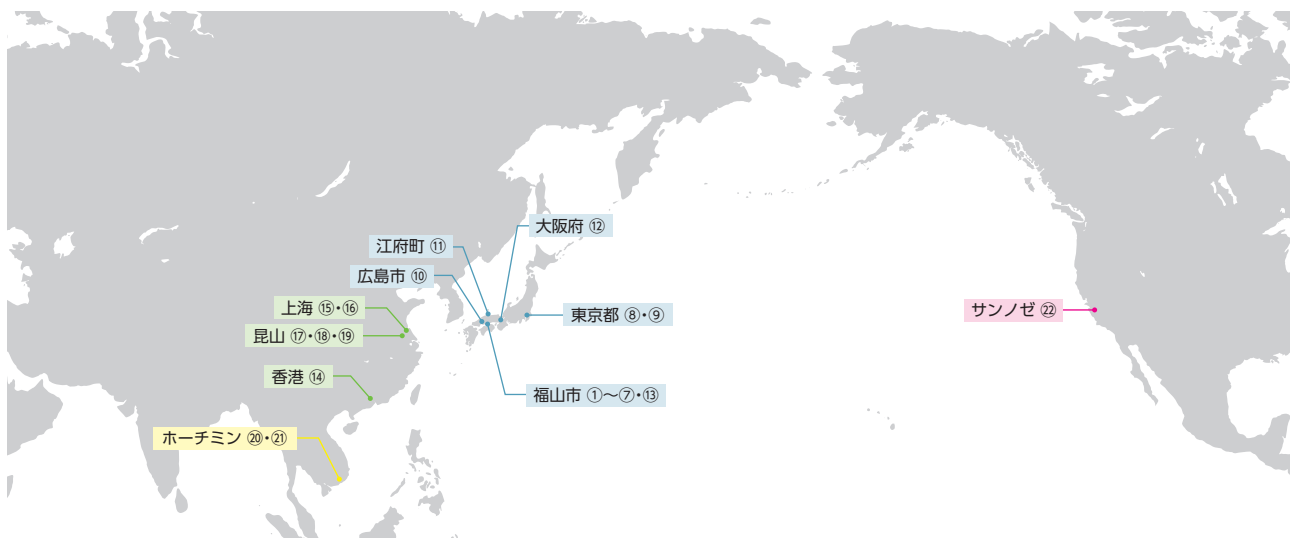
広島県福山市	①本社ビル	管理本部、デジタルデザイン推進室、マーケティング推進室、(株)サンエスホールディングス
	②繊維本部ビル	ユニフォーム事業部
	③第一流通センター	サンミネラル事業部
	④第二流通センター	物流センター、(有)サンエスビジネスソリューション
	⑤神辺第三流通センター	物流センター、(有)サンエスビジネスソリューション
	⑥テクノセンター	電子戦略室、シーケアデザイン事業部、制御システム事業部、メカトロニクス事業部、トータルパートナー事業部
	⑦神辺工場	シーケアデザイン事業部、制御システム事業部、(有)サンエスビジネスソリューション
東京都	⑧東京支店 (日本橋ビル)	ユニフォーム事業部
	⑨東京支店 (西麻布ビル)	電子戦略室、(株)センチュリーアークス

● その他の事業所

⑩広島営業所 (サンミネラル事業部) ⑪奥大山水工場 (サンミネラル事業部)

● グループ会社

日本国内	⑫(株)ユニックス (大阪営業所)	⑬(株)グンケイ
中国	⑭温得福遠洋投資有限公司 香港本社 (WOI)	⑮上海善媛司服飾有限公司 (SAS)
	⑯上海卓己貿易発展有限公司 (SWAT)	⑰三愛司電子技術 (昆山) 有限公司 (KSET)
	⑱昆山匠一環境科技有限公司 (KJET)	⑲昆山沃得福自動化設備有限公司 (KWAT)
ベトナム	⑳ WONDERFUL SAIGON ELECTRICS CO., LTD. (WSE)	
	㉑ LONG DUC-WONDERFUL SUN-S ELECTRONICS CO., LTD.(LD-WSE)	
アメリカ	㉒ SUN-S USA, Inc.	



①本社ビル



②繊維本部ビル



③第一流通センター



④第二流通センター



⑤神辺第三流通センター



⑥テクノセンター



⑦神辺工場



⑧東京支店 (日本橋ビル)



⑨東京支店 (西麻布ビル)



⑭ WOI



⑮ SAS



⑯ SWAT



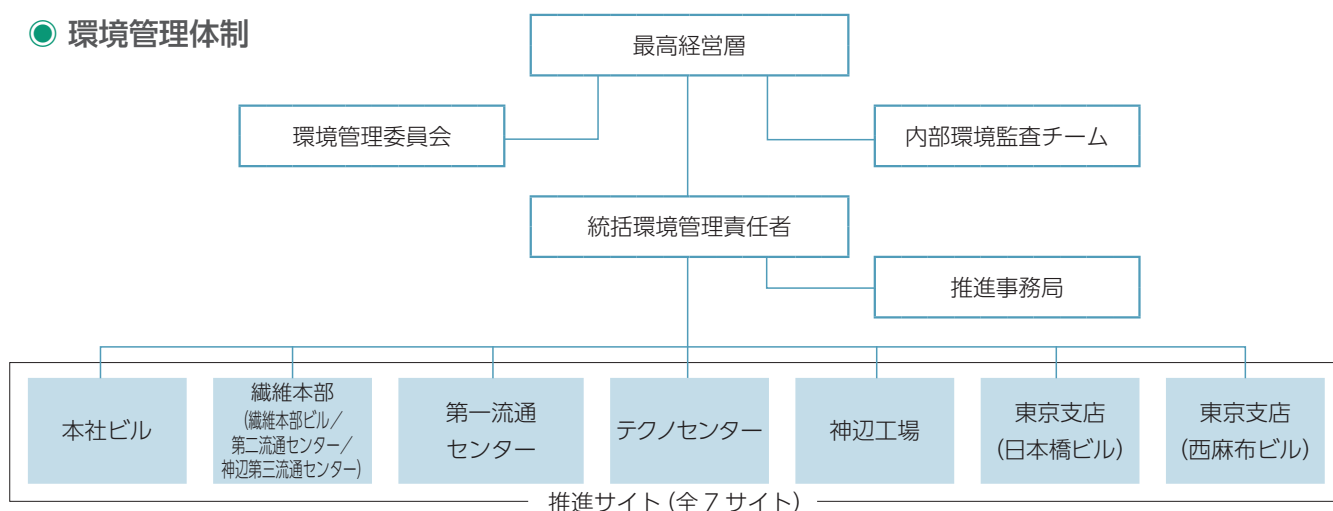
⑰ KSET



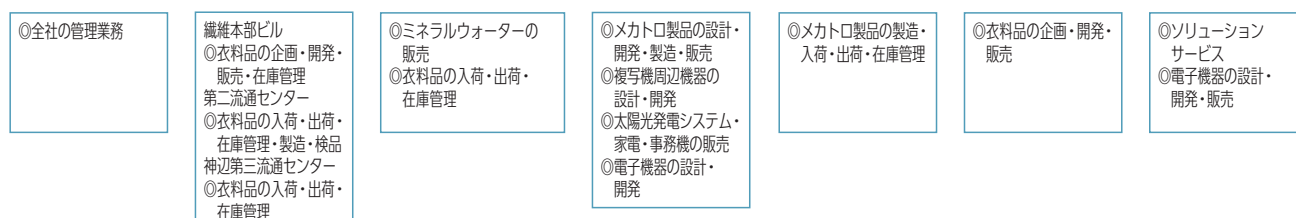
⑲ WSE

環境コンプライアンスへの取り組み

● 環境管理体制



適用範囲



グループ会社



● 環境管理委員会

社長を中心として、環境マネジメントシステムを継続的に改善させるため、各サイトの代表者が集まり（東京サイトはテレビ会議システムを利用して参加）、年2回環境管理委員会を実施しています。

● 国際規格認証取得

環境マネジメントシステム

事業所	認証番号	認証の種類	認証機関
株式会社サンエス（本ページ記載の7サイト）	09366 ※ 1	ISO14001:2015	Intertek
三愛司電子技術（昆山）有限公司	00118E31680R5M/3200	ISO14001:2015	CQC
WONDERFUL SAIGON ELECTRICS CO., LTD.	EMS631765	ISO14001:2015	BSI

品質マネジメントシステム

事業所	認証番号	認証の種類	認証機関
株式会社サンエス 電子部門 制御カテゴリー	Q2437	ISO9001:2015	ASR
株式会社サンエス メカトロニクス事業部	14600	ISO9001:2015	Intertek
三愛司電子技術（昆山）有限公司	00118Q34678R6M/3200	ISO9001:2015	CQC
WONDERFUL SAIGON ELECTRICS CO., LTD.	FM631763	ISO9001:2015	BSI

自動車産業向け品質マネジメントシステム

事業所	認証番号	認証の種類	認証機関
WONDERFUL SAIGON ELECTRICS CO., LTD.	742600	IATF 16949:2016	BSI



※ 1 認証登録証明書

環境管理

● 環境方針

基本理念

株式会社サンエスは、T. T. S (人を包む (Textile)、人を育む (Technology)、人を活かす (Science)) を事業活動の基本コンセプトとし、環境・健康・安全をキーワードに、人や自然に配慮され安心して使用できる商品を提案し、人類の豊かな暮らしとかけがえのない自然環境を次世代に引き継ぎます。

行動指針

1. 環境・健康・安全に配慮した“商品企画・開発の推進”

環境・健康・安全に配慮した商品を積極的に企画・開発・生産・販売します。

2. 環境・健康・安全に配慮した“事業活動の推進”

①天然資源及びエネルギーの消費量を低減するとともに、温室効果ガスの排出削減に努めます。

②排出物の3R (Reduce・Reuse・Recycle) 化を推進し、廃棄物量の削減に努めます。

③汚染の予防を推進し、環境保護に努めます。

3. 環境・健康・安全に配慮した“企業風土の構築”

①サンエスで働くまたはサンエスとともに働くすべての人に対し、計画的に環境教育を実施し、地球環境に強い人を育成します。

②周辺地域の環境活動等に積極的に取り組み、地域社会への貢献に努めます。

③法規制・条例等及びサンエスが同意するその他の要求事項を順守します。

運用

1. 環境マネジメントシステムの運用

行動指針を具現化するため、環境マネジメントシステムの運用により目的・目標管理または維持管理を推進し、環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

2. 環境方針の周知

サンエスで働くまたはサンエスとともに働くすべての人に、文書または電子文書にて周知するとともに、一般希望者にも公開します。

3. 環境情報の開示

環境への取り組みについて、より多くの方々にご理解いただくことを目的として、文書及び電子文書にて環境報告書を発行します。

2016年11月1日
株式会社サンエス 代表取締役社長 佐藤 卓己

● 環境目的・目標と実績

当社では環境方針の行動指針に沿って、環境目的・目標を設定し、継続的改善に取り組んでいます。

2025年度に取り組んだ主な環境目的・目標の結果です。

環境目的		指 標	目 標	実 績	結 果	具体的な取り組み
高品質・安全を考慮した自社製品開発		開発件数 (件)	2件以上	2件	○	FZN・空調風神服®2025年モデル新型バッテリー、ファンの開発
環境・健康・安全・介護に配慮した商品企画・開発の推進 (衣料商品)		環境配慮品比率 (%)	98.4%以上	98.9%	○	FZN・空調風神服®, 雷神服®, ユニフォーム 他
環境に優しい製品の販売		販売件数 (件)	12件以上	15件	○	ペーパーレス化商材の販売
排出物の3R化の推進	衣料品の企画・開発・販売・在庫管理	リサイクル率 (%)	89.4%以上	92.4%	○	有価物売却の推進
	メカトロ製品の設計・開発・製造・販売・在庫管理	有価率 (%)	64.1%以上	70.4%	○	廃棄物の分別、裏紙利用
	ミネラルウォーターの販売	有価率 (%)	91.0%以上	96.4%	○	有価物売却の推進
エネルギー使用量の削減	衣料品の企画・開発・販売・在庫管理	エネルギー使用量 (kL) / 延床面積 (km ²)	0.347以下	0.323	○	空調機器、照明設備、オフィス機器の省エネ
	ミネラルウォーターの販売	エネルギー使用量 (kL) / 延床面積 (km ²)	0.680以下	0.638	○	空調機器、照明設備、オフィス機器の省エネ
	メカトロ製品の設計・開発・製造・販売	使用電力 (千kWh)	1,824以下	1,688	○	工場設備の省エネ稼働
省エネルギー商品の販売量の拡大	省エネ家電等	実売台数 (台)	430台以上	431台	○	省エネ家電
業務の効率化		改善提案件数 (件)	12件以上	13件	○	生産効率・品質・作業性の向上
納期・高品質の加工・商品の提供/安全製品の提供		改善提案件数 (件)	1件以上	2件	○	販売会議、取引先のヒアリング・市場調査
リターナブルボトルの廃棄状況の把握		廃棄率 (%)	2.0%未満	1.238%	○	ボトルの廃棄数把握
ウォーターサーバーの普及		新規件数 (件)	683件以上	743件	○	条件付無料サーバー提供 (新規開拓)
職場環境改善		月の清掃回数 (回) × 参加率 (%)	37.2以上	40.4件	○	清掃活動
環境教育スキルアップ		配信回数 (回)	4回以上	4回	○	環境教育eラーニング配信
個人スキルアップ		件数 (件)	12件以上	16件	○	講習会、セミナー参加/資格取得

環境管理

● 法的及びその他要求事項及び適用サイト（重要と思われるものを抜粋）

当社は、法的及びその他要求事項を順守すべく様々な自主管理活動を実施しています。

区 分	法令・条例・その他の規制	要 求 事 項	適用サイト						
			本社ビル	繊維本部ビル／第二流通センター ／神辺第三流通センター	第一流通センター	テクノセンター	神辺工場	東京支店（日本橋ビル）	東京支店（西麻布ビル）
資 源	資源有効利用促進法	指定製品への材質表示識別マークの表示		●		●			
		指定製品への容器包装識別マークの表示		●	●	●			●
	容器包装リサイクル法	(財)日本容器包装リサイクル協会への再商品化委託		●	●				
	パーゼル法	ガロンボトルの有価物としての適正な処理			●				
	プラスチック資源循環促進法	プラスチック廃棄物排出事業者としての対応	●	●	●	●	●	●	●
	家電リサイクル法	家電リサイクル券の発行				●			
	廃棄物処理法	産廃物・事業系一般廃棄物排出事象者としての対応	●	●	●	●	●	●	●
	港区廃棄物処理条例・規則	事業用大規模建築物保有者としての対応							●
気 候 維 持	省エネ法	エネルギー使用量監視の対応	●	●	●	●	●	●	●
	地球温暖化対策推進法	エネルギー使用量監視の対応	●	●	●	●	●	●	●
	フロン排出抑制法	フロン類特定製品廃棄時の行程管理の実施	●	●	●	●	●	●	●
		フロン類特定製品の定期点検	●	●	●	●	●	●	●
		第一種フロン類回収業者としての対応			●				
化 学 物 質	PRTR法	危険有害物質入手時のSDS交付の確認・入手、SDS記載内容の対応	●	●	●	●	●		●
	RoHS指令、中国版RoHS	化学物質含有製品を対象地域に輸出する上での規制に対する対応				●			
	REACH規則					●			
水 質 汚 濁	浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃、法定検査の実施		●	●		●		
	下水道法	公共下水道管理者への届出	●			●		●	●
騒 音 振 動	広島県規則	県知事が定めた騒音・振動の規制基準の順守		●		●	●		
悪 臭	悪臭防止法	特定化学物質使用事業者としての対応				●			
地 域 保 全	工場立地法	生産施設面積／敷地面積割合の基準の順守				●			
	工場立地法に基づく準則を定める条例	緑地面積／敷地面積の割合の基準の順守				●			
	都市計画法	自治体への届出	●	●	●	●	●		
安 全	消防法	地下タンク貯蔵所・屋内貯蔵所・一般取扱所における基準の順守				●			
		指定可燃物貯蔵・取扱		●					
		消防用設備等点検結果の報告	●	●	●	●	●	●	●
	高圧ガス保安法	第一種製造者としての対応				●			
		第二種製造者としての対応				●			
	労働安全衛生法	規模に応じた管理者の選任	●	●	●	●	●	●	●
		委員会の設置、開催	●	●		●	●		
		作業主任の選任				●			
		化学物質のためのリスクアセスメント	●	●	●	●	●		●
		職場における熱中症対策の強化	●	●	●	●	●	●	●
	毒劇物取締法	劇物取扱者としての対応				●			
	クレーン等安全規則	定期点検の実施、資格者の選任	●	●	●	●	●		
総 合	神辺工業団地公害規制基準	規制基準の順守				●			

環境負荷バランス

13 気候変動に
具体的な対策を



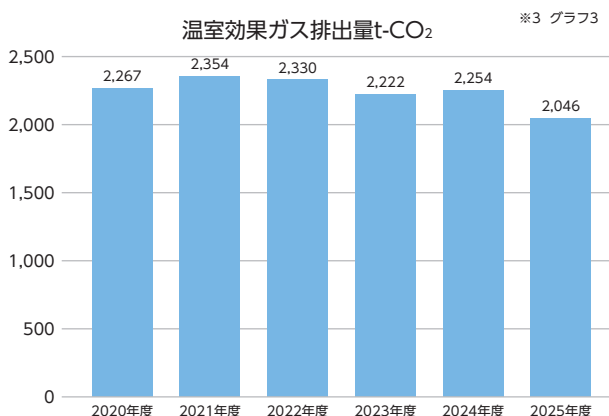
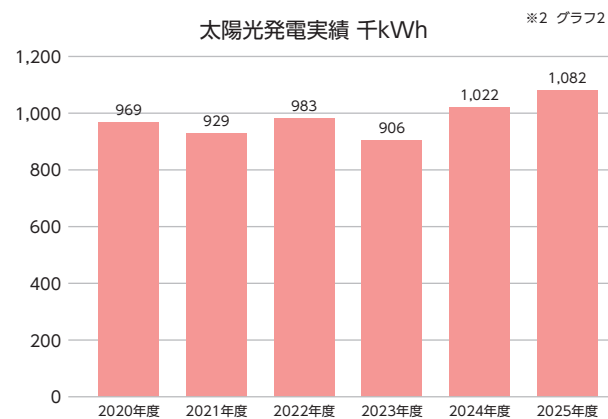
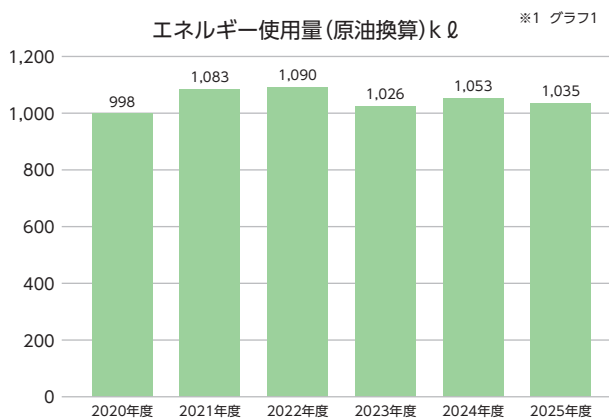
● 環境負荷バランス2025年度実績

INPUT	エネルギー	重油	140 kℓ
		石油ガス	155 t
		電力	3,168 千 kWh
		エネルギー使用量(原油換算)	1,035 kℓ ※1 グラフ1
	再生可能エネルギー	太陽光	1,082 千 kWh ※2 グラフ2
	水		8,650 t
	原 材 料	プラスチック類	31 t
		紙・布類他	476 t
		包装材	57 t
		化学物質	1 t

業務内容

全社の管理業務、電子機器の設計・開発・販売、複写機周辺機器の設計・開発
メカトロ製品の設計・開発・製造・販売・入荷・出荷・在庫管理、衣料品の企画・開発・製造・販売
ソリューションサービス、ミネラルウォーターの販売、太陽光発電システム・家電・事務機の販売
衣料品の入荷・出荷・在庫管理・検品

OUTPUT	排 水	1,802 t
	温室効果ガス	2,046 t-CO₂ ※3 グラフ3
	一般廃棄物	16 t
	産業廃棄物	65 t
	有 価 物	104 t



※ LED 照明

当社は省エネ法の規定に基づく特定事業者に指定され(2010年)、LED照明への切り替え(※写真)、太陽光発電システムの導入、工場の集約、などで省エネを進めCO₂削減を図っています。



環境負荷の低減

● 排出物の3R化活動

私たちは3R化活動により廃棄物量の削減に努めています。

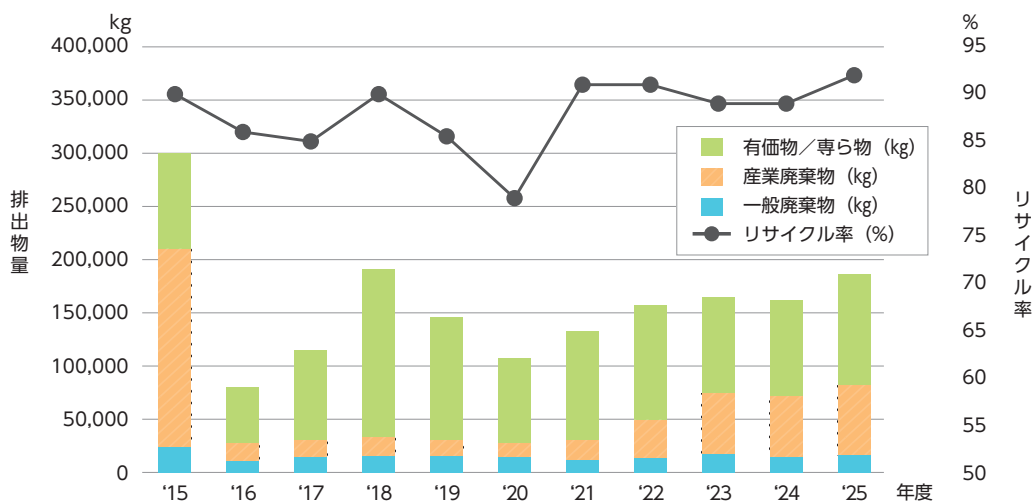
Reduce (発生抑制)	主な活動	設計段階からの省資源化、長寿命化
		生産効率化による廃棄物の削減
		電子印導入によるペーパーレス
Reuse (再利用)	主な活動	リターナブルボトル (空ボトル洗浄殺菌後再利用)
		純水ブロー排水の再利用
		納入容器の通函
Recycle (再資源化)	主な活動	ダンボール・オフィス紙・プラスチック片、金属片、シリコンくずの有価物化

● 排出物量の処理状況

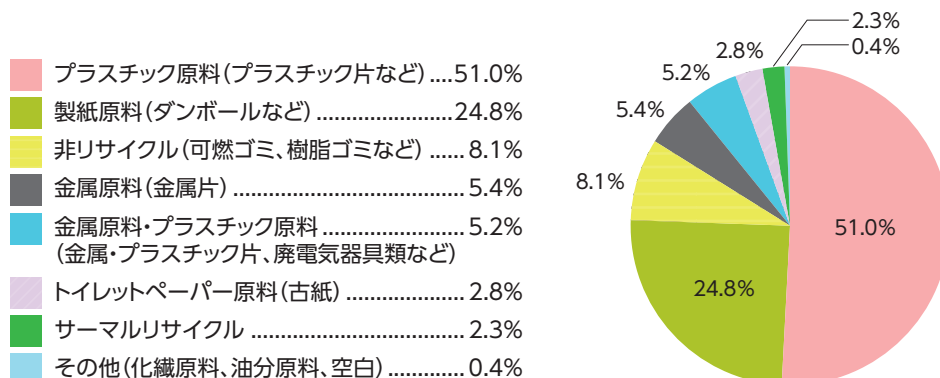
排出物の92%をリサイクルしています。

$$\text{リサイクル率}\% = (\text{総リサイクル量kg} + \text{有価物量kg}) \div \text{総排出物量kg} \times 100$$

● 排出物量、リサイクル率



● 排出物処理状況 (2025年度)



環境マネジメントの実践

● 内部環境監査

当社では毎年1回全サイトで内部環境監査を実施しています。

内部環境監査は、当社の環境管理活動がISO14001規格の要求事項・環境方針・環境目標・環境マネジメントマニュアル・環境規定・業務手順書及び環境マネジメントプログラムに適合し、順法のうえ効果的に実施されているか、また、環境方針の達成にとって環境マネジメントシステムが有効に機能しているかを評価することを目的として実施しています。

内部環境監査員登録者数

- ・主任内部環境監査員11 名
- ・一般内部環境監査員31 名
- 合 計42 名

現場監査 (神辺工場)



現場監査 (第一流通センター)



書類監査 (テクノセンター)



書類監査 (本社ビル)



● 外部環境監査

ISO14001 維持審査

2026年6月11日～12日にインターテック・サーティフィケーション(株)による『ISO14001 維持審査』を受審し、認証の継続が認められました。

審査結論

不適合	0件
観察事項	0件
改善の機会 (軽微)	2件

軽微な改善の機会であっても、審査後に環境管理委員により今後の対応を協議します。また、審査中の審査員の発言の中で参考になる事も洗い出して情報を共有し改善対応の判断をします。

審査場面

トップインタビュー (本社ビル)



現場審査 (神辺工場)



書類審査 (第一流通センター)



現場審査 (繊維本部)



● 環境管理委員会

環境管理委員会を半期に一度開催します。社長を筆頭に全7サイトの管理委員が集結し、環境パフォーマンスの監視を行います。また、社長からのアウトプットを展開する場でもあります。



リスク管理

● 環境緊急事態対応準備及び訓練

万一の環境緊急事態に備えて、定期的に緊急事態のテストを実施しています。

〈実施手順〉

1、対象の特定

事故・緊急時に環境影響が懸念される環境側面を特定する。

2、対応手順

予想される環境緊急事態に関する対応や環境影響の予防・緩和を含めた手順を作成する。

3、対応手順テストと記録

対応手順テストを可能な範囲で実施し記録に残す。

4、レビュー

環境緊急事態が実際に発生した場合は、手順の見直しを行い必要に応じて改定する。

危険物漏洩を想定した訓練



砂による流出拡散防止

● 総合訓練

水消火器を使った使用方法の指導及び訓練(本社ビル)



消火栓を使った消火訓練(テクノセンター)



● 産業廃棄物委託契約前視察

委託契約前に委託先を視察し、環境への取り組みや廃棄物の管理状況を確認し、信頼できる企業のみと契約します。

2025 年度 新規契約 1 社



● 安全衛生対策

安全衛生活動の実施により安全・衛生面における様々な対策を実施しています。

① 定期安全パトロール

安全管理者を中心に職場、作業場のパトロールを行い、改善・対策を促します。

② 安全運転・あいさつ運動

通勤時の運転マナーを確認、指導します。
また、明るく、元気に仕事ができるよう、出勤時にあいさつ運動を実施しています。

③ メンタルヘルス

メンタルヘルスマネジメントⅡ種、産業カウンセラー資格取得者による定期講座や社内報による情報発信を行っています。常時、個人相談窓口も設置し、社員の心の健康を維持します。



あいさつ運動の様子

● クールビズ

地球温暖化防止のため、クールビズを全サイトにて実施しています。



● 「COOL CHOICE」への賛同

「COOL CHOICE」は、CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取り組みです。当社は2022年3月より活動に賛同しています。



● 仕事と介護の両立支援

仕事と介護を両立できる職場環境の整備促進に取り組んでいます。

厚生労働省は、企業が介護離職を未然に防止するため、仕事と介護を両立できる職場環境の整備促進に取り組むことを示すシンボルマークを作成し、仕事と介護を両立しやすい職場環境の取組への関心及び認知度を高め、介護離職を防止するための取組に向けた社会的気運の醸成を図っています。



仕事と介護の両立支援

● 第5回 広島県働き方改革実践企業認定

「第5回 広島県働き方改革実践企業」に認定されました。

長時間労働の削減や、休暇の取得促進、子育て・介護と仕事の両立など、従業員がイキイキと働く事ができる社内制度、職場環境づくりに取り組み、働き方改革の実績や効果が出ている企業が認定される制度です。



2019年度 広島県商工会議所連合会認定

● ふくやまワーク・ライフ・バランス認定

ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者として、認定証を交付されました。「ふくやまワーク・ライフ・バランス認定」とは、男女が働きながら「仕事と家庭の両立」を実現するための支援に積極的に取り組んでいる企業を、福山市が認定する制度です。



● イクボス同盟ひろしま加盟

イクボス同盟ひろしまに加盟しました。「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のことです。働く誰もが仕事も暮らしも充実した「欲張りなライフスタイル」を実現するためには、企業経営者や管理職がイクボスになり率先垂範することが重要です。



● 広島県仕事と家庭の両立支援企業

広島県の次世代育成支援策の一つである「仕事と家庭の両立支援企業登録制度」の登録企業として、広島県より登録証を交付されています。

「仕事と家庭の両立支援企業登録制度」とは、仕事と子育ての両立や働き方の見直しなど「仕事と家庭の両立」を推進する企業が、次世代育成支援対策促進法に基づく一般事業主行動計画を公開し、実行宣言を行い、認められた企業を広島県が登録するものです。次世代支援対策推進法に基づき「一般事業主行動計画」を策定し、子育てを行う社員の仕事と家庭の両立を支援するための制度や、働きやすい環境をつくることによって、男女問わず全ての社員がその能力を最大限に発揮できるように、職場環境の整備に取り組んでいます。



● 通信教育・資格取得の奨励

自己啓発の一環として通信教育講座の受講や資格取得を社員に奨励し、一部費用を会社が負担しています。通信教育では、2025年度95名が修了しました。



社会的取り組み

11 住み続けられる
まちづくりを



●チャレンジ・ウィークふくやま2025 2025年6月24日～26日 (サンミネラル事業部)

福山市立神辺中学校2年生1名を職業体験として受け入れました。



●インターンシップ開催 2025年7月28日～29日 (テクノセンター)

広島県立神辺高等学校2年生1名を対象として、2日間にわたるインターンシップを開催しました。



●第44回ふくやまマラソン協賛 2026年3月15日

福山通運ローズスタジアムで開催された「第44回ふくやまマラソン」に協賛企業として参加しました。

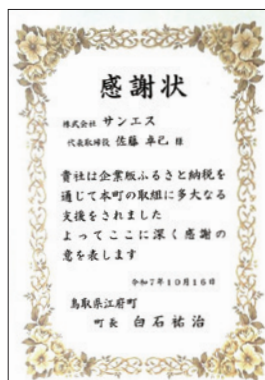
●献血活動 2025年8月29日(テクノセンター)

技術棟において献血活動を実施しました。



●企業版ふるさと納税 寄附 2025年10月16日

奥大山のおいしい水の採水地でもある鳥取県日野郡江府町へ、企業版ふるさと納税制度を活用し寄附を行い、感謝状をいただきました。



●環境美化活動

周辺地域の美化活動を定期的に行っています。



(本社ビル)



(繊維本部)



(繊維本部)



(テクノセンター)



(テクノセンター)



(テクノセンター)

製品開発における環境配慮

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



● 太陽光発電システム

当社は目に見える環境対策として太陽光発電システムの導入、販売を行っております。

● 太陽光発電システムの導入



テクノセンター



発電量公開モニター



神辺第三流通センター



● LED 防蛾灯『サンビネックスライト®』

長寿命・省電力のハイパワーLEDを採用し、光のカーテンで蛾の侵入を防ぎます。有害物質を含まないので、果樹園の防蛾に最適です。

果樹園などで広範囲に夜行性害虫の食害を減らすことができます。害虫が減れば農薬散布も減り、環境汚染の低減が期待できます。



● LED 防蛾灯『サンビネックスライト®ストレート』

夜間に特定の波長の照明を点灯することにより、虫の活動を抑制することができます。軽量のため、工場・駐車場・駐輪場・倉庫など幅広い場所で常夜灯としても活躍できます。



● プラズマクラスター技術搭載ファン

業界初、プラズマクラスターデバイスを搭載した電動ファン付きウェアとして、FZN・空調風神服®ブランドで販売を開始しています。汗臭をプラズマクラスター技術で軽減させ、快適性を向上させます。



● 衛生除菌水『サンクリア』

サンクリアは、水道水に近い成分のため環境に優しく、アルコールでは殺菌できないウイルスも除去できます。

また、肌荒れなどの心配もありません。

耐酸性の超音波式加湿器をご使用で、室内の空間除菌や消臭にも効果があります。



● 8L ラベルレスボトル

ラベルレスにすることで、ラベルを剥がす手間が省けると同時に、プラスチック使用量の削減につながります。



● 表示機能付き RFID タグ

紙の「見えやすく、電気がなくても表示が残る」性質と、電子ペーパーの「書換え可能」という長所を併せ持ったバッテリーレス表示メディアです。

作業の効率化や、無駄な紙の発生も低減できます。



発行者

SUN-S 株式会社 サンエス

〒720-2124

広島県福山市神辺町大字川南741番地の1

TEL.084-963-1111 FAX.084-963-5115

制作・印刷 株式会社ベッセル ベッセルプロダクツ 2026年8月発行

